

## 「自己組織化を促す場」を 商品化したマーケティング

— 片づけコンサルタントの事例から —

中京大学 経営学研究科経営学専攻  
博士課程後期課程  
西川 絹恵

1

## 発表の目的

様々なものが市場化される昨今、「場」も商品化されるようになり、ビジネスモデルの中でも重要視されるようになってきた。

本発表では片づけという切り口から「自己組織化を促す場」を作り出すコンサルティングサービスに注目し、現代社会において物理的な側面から心理的側面を自己組織的に変容させる「場」のマーケティングを考えたい。

2

## 「場」の商品化の例

- ・ **宿泊する「場」**  
ホテルや旅館など
- ・ **食事をする(又は相手をもてなす)「場」**  
レストランや料亭など
- ・ **人との出会いを求める場**  
結婚相談所、Bar、SNSなど
- ・ **自分が自分として存在できる「場」**  
スターバックス、快活CLUBなど
- ・ **商品やサービス・情報を集めた市場としての「場」**  
市場、楽天やアマゾンなど

3

## 「場」とは

- ・ アリストテレス「場所(トポス)」
- ・ レヴィン「一般に相互に依存していると考えられる共存する事実の全体」
- ・ バーナード「組織を人力の場(Field of personal forces)とみなし、相互に影響を及ぼし合いながら成立するシステム」
- ・ ブルデュー「場の概念は関係論的に考えることが必要であり、種別性をはらんだ固有の論理を持っている」

4

## 本論における「場」とは

「場」は物理的なものだけでなく時間、心理的空間を包含している。さらに規模や生成数、影響力、発生原因、共通経験や思想、文化そして時間軸など様々なものを包含しながら、流動的、多元的に存在しているものである。

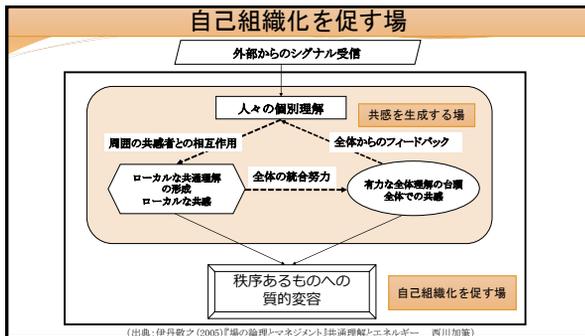
5

## 自己組織化とは

**自己組織化とは、時間軸の中で不安定なものから秩序あるものへの質的変容が起こること  
で新しい性質を作り上げることである。**

- 例) ・ 生まれたての目の見えない赤ちゃんが学習しながら回路を作り、目が見えるようになっていく現象  
・ 資産バブルが膨張し、崩壊する現象

6



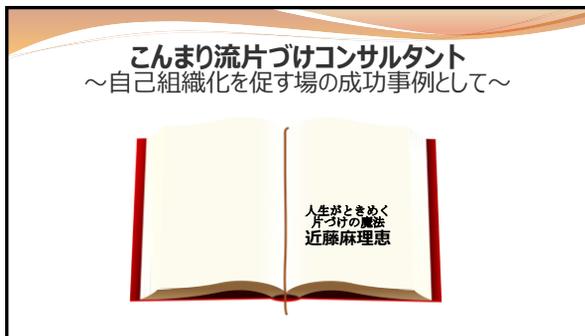
7

### 共感を生成する場ができた時に 自己組織化を促す場ができる

- 共振・・・同じ気持ちになる, 同じ意見になること。自他との隔たりというものは消失されている。
- 共感・・・お互いの違う体験を共通に感じ合おうとして、関心を持ち続けた相手の言葉や振る舞いの中で確認できる深い理解。

共感の場合は個人が違う意見を持っていたとしても、個々の持つアイデンティティを脅かされることがないため、**関係性の中に基本的安心感が創造されて行く。** (鷲田 2003)

8



9

### こんまり流メソッド

近藤が提唱する「片づけをすることで、人生を変える」メソッドである。

片づけするときの特徴は、**手元に残すものをときめくかどうか**の基準で選ぶことである。

片づけを通して自分の内面をみつめ、自分が大切にしている価値観を知ることによって、二度と散らからない家をキープできるだけでなく、キャリアや人間関係など人生における全ての選択において大きな変革をもたらすと紹介されている。

10



11

### こんまり流片づけコンサルタント ～自己組織化を促す場の成功事例として～

これまでの片づけビジネスとの違い

片づけの代行ではなく、顧客が片づけを通じて様々なものを整理していく**メソッドを体得する**サービスである

片づけコンサルタントが顧客に寄り添いながら、こんまりメソッドに沿って衣類→本→書類→小物→思い出品の順に一緒に片づけを進める。

12

NHK密着ドキュメント片付け人生をやり直す人々  
NHKが1年に渡り、こんまりのノウハウによる片づけ現場に密着したドキュメント(2019)から複雑な過去を背負った3人の女性が、片づけで、人生を変えていく番組から事例を1つ紹介する。

**不登校だった主婦の事例**  
片づける目的  
「片づけて気持ちをすっきりしたい」

13

**不登校だった主婦の事例**

衣類のときめくかどうかの判断を順次している時に、高校生のころ来ていた服で止まってしまった。彼女の服にまつわる過去の記憶  
「中高生の時の不登校」  
が出てきた。

14

**高校生の時の衣類**

片づけコンサルタント      依頼者

物がなくなっても大丈夫な自分ってどんな感じなんだろうね。

あんだけ頑張ったことをなしにしてもいいのかい？っていう感じ。それがなかったら私って何なの？

共感を生成する場

15

**実家にある給料明細書**

共感を生成する場      依頼者

うんうん

給料明細は頑張って働いたという証、辛かったことを思い出す

何年か後に見て、ああ頑張ったんだなあと思うけど、未来に連れていきたいかというのと連れていきたくはない。

16

**実家にある給料明細書**

片づけコンサルタント      依頼者

みたくないから捨てるというのではなく、過去にふたをするように捨ててはいけないよ

頑張ってくれてありがとう、私頑張っていたんだよということを給料明細が教えてくれる気がする

アイデンティティの自己組織化を促す場

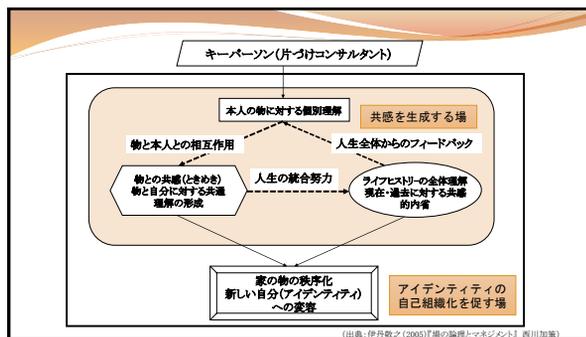
17

**片づけ後の依頼者の変容**

物を片付けることは記憶を片付けているような気がする」と語りながら、辛かったのは過去の自分であり今の自分ではないこと、大切なのは今であると気が付き、中高時代の服を捨てられるようになり、それを契機に片付けが順調に進んで最初の目的である「片づけて気持ちをすっきりしたい」を達成した。

アイデンティティの自己組織化

18



19

## 結び

片づけと共に「自分がどういふ状態だと心地よいか」を自然に体得していくのが「こんまり流」である。このプロセスは心理療法にも通ずる。目に見えない心理療法とは異なり、人生の変容が物の整理として可視化される。

昨今では、マーケティングにおいて「価値の共創」「関係性」をつくるのがうたわれている。

こんまり流は人生を変えるということ「片づけ」という具体的な行為に結び付け、「ときめき」を「可視化」する場を生成して自己組織化していく。

このような「場のマーケティング」は、これからのビジネスモデルとして期待される。

20